

Microsoft Security Essentials における除外設定の方法(Windows7)

1. 「スタート」 → 「Microsoft Security Essentials」の順にクリックします。



2. 「Microsoft Security Essentials」が表示されます。
「設定」タブをクリックします。



3. 設定画面で以下のフォルダを除外設定します

1) クレアコンポIIの場合

C:\Users\ (ログインしているユーザー名) \AppData\Local\Apps\2.0

※親機(サーバー)の場合以下のフォルダの設定も必要

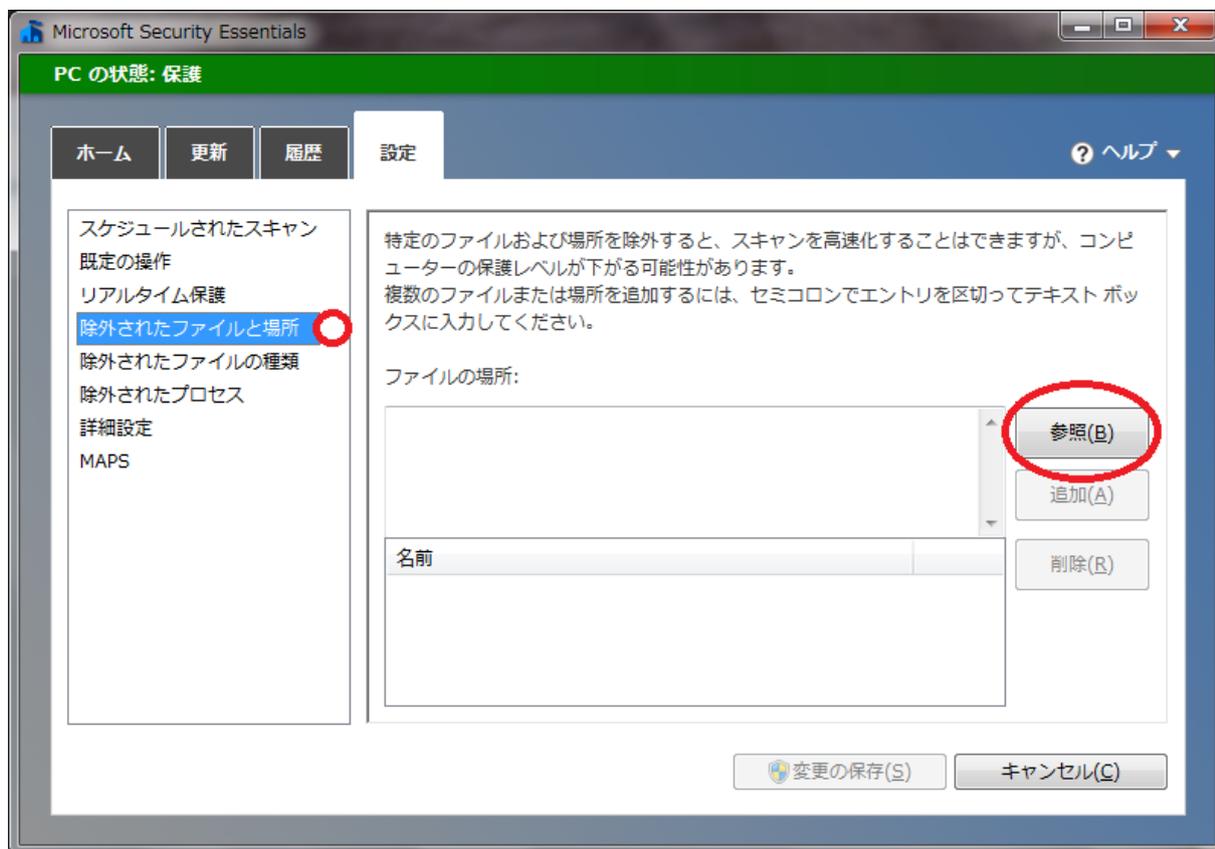
C:\inetpub\Intranet

2) クレアコンポ、XiFormMagicの場合

C:\CREACOMPO

【設定方法】

①左のメニューで「除外されたファイルと場所」を選択し、「参照」をクリック



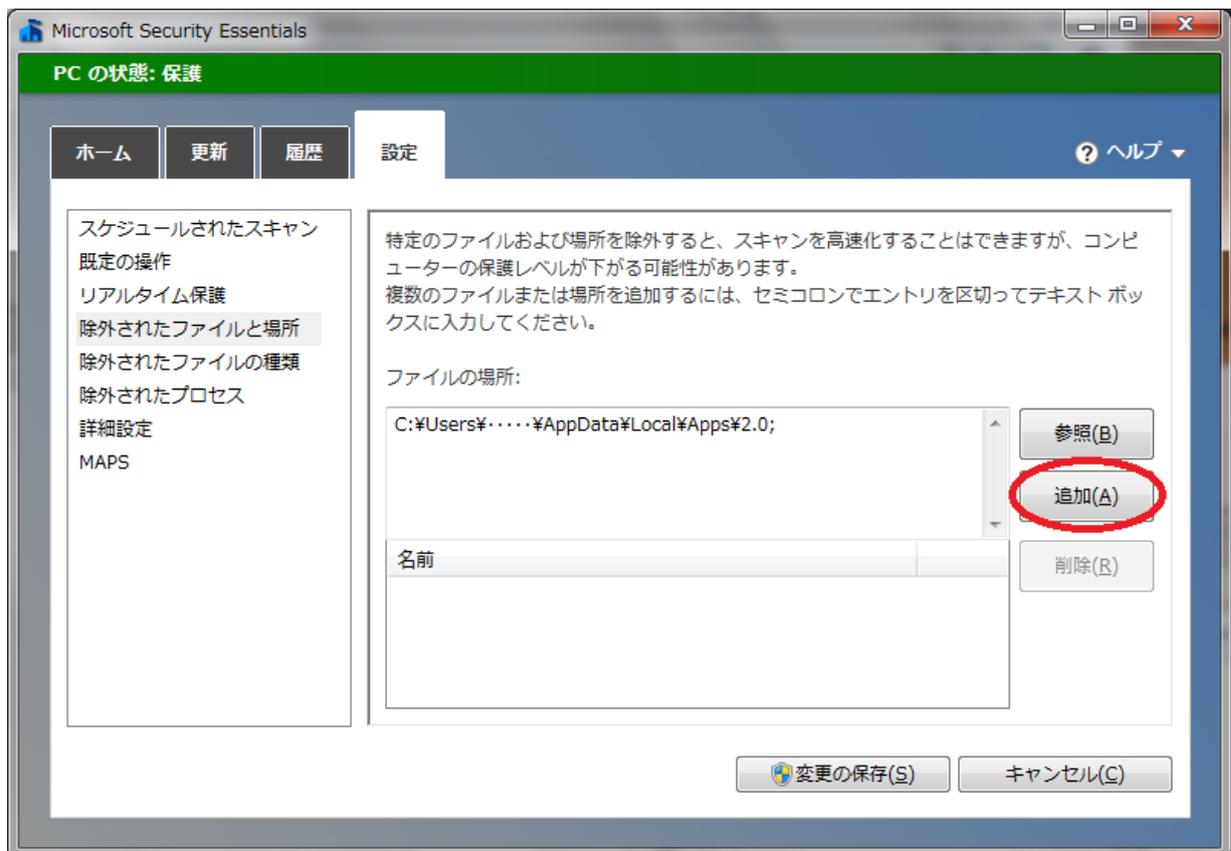
②表示されたフォルダ選択画面から上記フォルダを選択し、「OK」をクリック



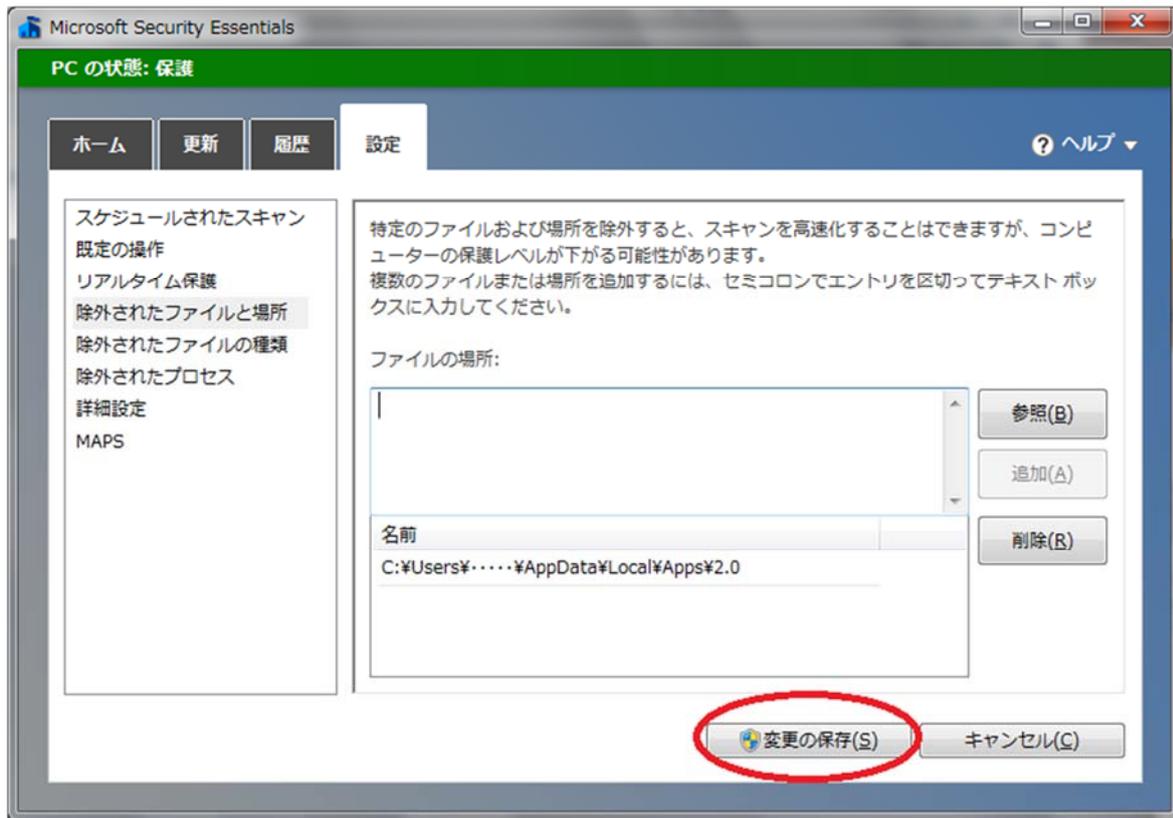
※フォルダが表示されない場合、下記URLで紹介されている手順に従って、設定を変更してください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/14201/windows-show-hidden-files>

③ 「追加」をクリックすると下の「名前」欄に選択したフォルダーが移ります。



④ 「変更の保存」をクリックし設定を保存したら、ウィンドウを閉じます。



以上